

<提案名>

まちとひとつながりキロポスト

<どんなことをする？>



国内にある全ての道路の路面に キロポスト を「貼る」あるいは「描く」という方法で、実現する。という提案です。

<キロポストとは？>



国道や高速道路にある、起点からの距離を示す立て看板のことを指します。

名称の由来は、km単位で打ってあることが多く、また、道標となることから、キロポストと言われます。



高速道路にあるものは、緑色や白色の金属製の看板です。歩行者がいない道路なので、ぶつかって怪我をすることはありません。

国道にあるものは、柱状につくってあったり、歩行者の邪魔にならないところに掲示するなど工夫がしてあります。

これらは全て、道路を管理するためのものとして活用されているようです。

<発案のきっかけは？>

発案のきっかけ



サッカーの広告

+

キロポスト

※YouTube Jリーグ公式チャンネルより引用

発案のきっかけ



サッカーの広告は布が置いてあるだけ

※YouTube Jリーグ公式チャンネルより引用

サッカーのテレビ中継を見ていて、布が置いてあるだけだと気付いた時でした。

時には、選手が広告の上を走って行くこともあります。

立体に見えていましたが、ぶつかることなく、安全で、はっきりと見えるおもしろいものに感じました。

これが、高速道路や国道だけでなく、市道や町道や農道や住宅団地の道路など日本中の道路にあったら便利そうだな！と考えました。

<地面に 描く 貼る といいこと>

なぜ 地面に 描く？ 貼る？

- 災害に強い
位置情報位置がずれない。折れてなくなる。
- 誰もぶつからない、ケガしない
倒れない、風で飛んで怪我しない、
折れて通行を邪魔しない
自転車や自動車がぶつかって事故しない
- 大きさが自由に決められる
道幅や景観や特徴に合わせたデザインが可能になる



※いらすとやから引用

柱や看板が壊れて折れてしまうことはありません。


歩行者や自転車や車ぶつかって怪我や事故をすることもありません。

大きさや色を工夫することができます。

色が薄くなったり、剥がれてしまったら、新しく作り直すことができます。

<すべての道に起点からの距離を刻む>

すべての道に起点からの距離を刻む



車から見える
キロポスト (案)

- 基本的な機能
100mごとの位置情報がわかる
(車から見える・徒歩で見える)

- 道路の管理に役立つ
道路の管理に役立つことは国道や高速
道路ですでに長年の実績がある

金属や柱を安全に建てるのは、費用がかかります。道路の路面や歩道の表面に描いたり、特殊なシールで貼り付ければ、簡単に設置することができ、比較的安くできるのではないかと考えました。

「すべての道」とは、道路としてみんなに使われている公共の道で、特に、キロポストがまだ設置されていない、市道や町道や農道など。あるいは、便利だとわかれば、すでに設置されている高速道路や国道にも応用ができるかもしれません。


道路(路線)ごとに、起点となる場所を0KP(ゼロキロポスト)として、100mごとに設置していきます。

基本的な機能としては、車から見えることと、徒歩で見えることの2点が大切だと思います。

キロポストがあることは、すでに日本だけでなく世界の道路の管理に役立っています。

<キロポストがあると良いこと>

100mごとの位置情報がわかる



良いこと

「安全」

災害や事故が起きた際に、場所がわかりやすいから、誰かに伝えやすい。行きやすい。

「GPS以外の手段」

電子機器が無くても、自分のいる場所がわかる。

「住所以外の手段」

個人情報にならない場所の伝え方ができる。ルートを教える新しい手段になる。

役立つキロポスト

例えば、地震で道路が割れて崖のようになった時、「鈴木さんの家の前が通れません」というより、「●●道路の11.3キロポストの地点が通れません」と伝えればすぐに伝わります。

事故が起きて救急車に来てもらいたいときに、携帯電話で話しながら、近くのキロポストを見て、「●●道路の11.3キロポストの近くです」と伝えれば、救急隊員も駆けつけやすいはずです。


迷子になってしまって、携帯電話（スマートフォン）の電池も無くなってしまった時、自分がどこにいるのか伝えることができます。

住所は今、個人情報として大切に扱わなければいけません。地域によっては、連続した番号になっていない場所もあります。

引越し先に友達を招くとき、「●●道路の11.3キロポストが近くにあるよ」と紹介すれば、「近くまで来ていたのに、1本違う道だった」と迷ってしまうことが少なくなるかもしれません。

<道路の管理に役立つ>

道路の管理に役立つ



役立つキロポスト

良いこと

「発見」
路面の損傷やトラブルの発見などの際の記録・情報として活用している。

「計画」
補修・修繕計画を立てるのに便利。


「補修・修繕」
実施計画の場所が現場と一致する。

「実績」
実際に活用している。

今、高速道路や国道でお仕事をしている人にとっては、「道路にキロポストがあること」が当たり前です。けれど、金属の看板をひとつひとつ設置してつくっていくとお金がいくらあっても足りません。一度作ると壊れた時に直さなくてははいけません。

<新しい機能を持たせる>

新しい機能を持たせる



- ・新しい機能
- 道路の名前を表示する
「●●■線」 「▲▲▲通り」
- スポンサー名を表示する
- NFCタグを埋め込む
- カタチを登録して公開する

新しく設置する費用、壊れた時に直す費用、安く設置できる工夫、幅広い用途それらを実現できれば、もっと多くの道路で便利さを活用することができるはずです。

<道路の名前を表示する>

道路の名前を表示する
「●●■線」 「▲▲▲通り」



良いこと
「愛着」

- ・実は、管理名（正式名称）がほぼ全ての道路についている。
- ・名前を知ることによって、愛着がわく。

「新しい愛称」

- ・名前をつけることができる。
- ・地域住民が参加して愛称を決定できる。

道路には管理するための名前が付いています。

名前を知ることによって地域の道路に愛着を持つことができるかもしれません。

新しい愛称をつける時には、地域住民が参加する機会もつくることができます。

県境を跨いで別の名前になっている道もあります。

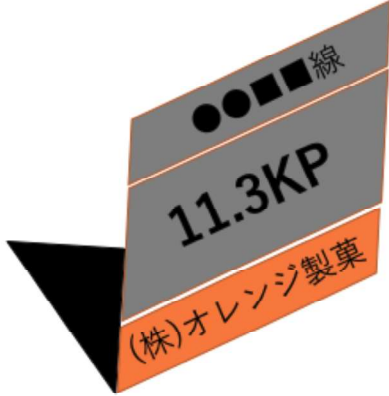
名前を呼び合うことができれば、それをきっかけに交流が生まれるかもしれません。

離れた地域でも、同じ名前の道路でつながっているかもしれません。

同じ名前の道路の仲間で、楽しいことを企画できるかもしれません。

<スポンサー名を表示する>

スポンサー名を表示する



- 企業名、個人名を掲載できる
正式名称、愛称とは別に、スポンサー名を掲載する。
道路を維持・管理を能動的に進めることができる。
社会貢献の新しい手段が増える。
住民と町とひとや企業をつなぐきっかけになる。

球場や公共施設のネーミングライツが一般的になってきました。

「道路」という特性上、名称や愛称は慎重に取り扱う必要がありますし、住民参加による決定など一定の手続きが必要です。

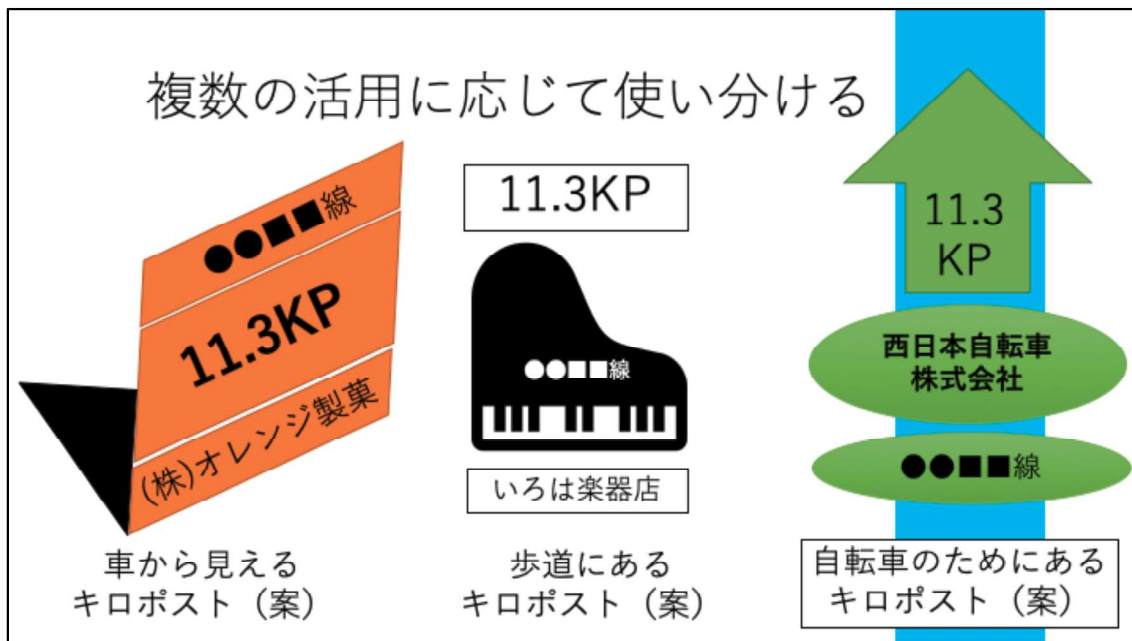
名称や愛称とは別に、「支援したい人や企業」が参加していることを明確に表すこともできます。商店街がみんなで守る道であれば、10m ごとにお店の名前を刻んでも良いかもしれません。

新しく設置する費用、壊れた時に直す費用は、スポンサーが「広告料」として、あるいは、「寄付」として支援の輪に参加することができます。

公共事業ですでに予算がついている道路は、スポンサーからの支援によって、もっと便利な道路にすることができる可能性があります。

みんなの道路をみんなで守りたい。ふるさとの道路をみんなのために守りたい。社会貢献をしたい。そんな思いを実現するための、機会になると考えています。

<複数の活用に応じて使い分ける>



道路の特徴や道路の幅や広さ、車が多い道路、自転車が多い道路、歩道がしっかりとある道路、歩道だけの道路、様々です。

道路によって見えやすさを、デザインとして工夫することができます。

地域住民の思いのよって工夫する、スポンサーの思いによって実現する、観光や、地域おこしのデザインを考える、いろんな可能性が考えられます。

「車に乗った状態でよく見える」などの基本的な機能を踏まえつつ、遊び心を発揮すると良いのかもしれない。

<新しいデジタル技術を活用する>

NFCタグを埋め込む

- 基本的な機能
NFCタグ（ICチップ）を埋め込むことで、スマートフォンで情報を読み取ることができる
- 活用する
スマートフォンで道路の情報を読み取る
現在地の確認、道路名や愛称の由来・歴史
スポンサー情報や関連リンク



※いらすとやから引用

カタチを登録して公開する

- 路面に描いた（貼った）カタチを
公共情報として公開する
- 活用する
 - ・ 自由な発想を生み出すためのデータベースとして
 - ・ 道路・路線のシンボルマークとして
 - ・ 観光や広告、その他のビジネスに自由に使える公共財として
 - ・ 拡張現実 AR（マーカー型）の基礎情報として活用し、AR技術を引き出すマーカーとして活用する




※いらすとや から引用

スマートフォンや電子機器で使うことができる NFC タグや、拡張現実 AR を活用する土台にすることができます。

これらの新しい技術や機能を使いたい企業や、サービス事業者は、その利用料として、新しく設置する費用、壊れた時に直す費用、安く設置できる工夫、を負担してくれたり、スポンサーになったり、売り上げの一部を寄付してくれる可能性があります。

<公共財が創り出す波及効果>

公共財が創り出す波及効果



- 地域振興
道路や道路の交わりを通じた地域振興策やつながりを企画できる
- 新規創業
キロポストを活用したビジネスチャンスが生まれる
- 雇用創出
ビジネスチャンスに伴って雇用が生まれる
- 道路管理
効率良い道路管理や積極的な道路管理
スポンサーの自由な投資による快適な道路の実現や、新技術の試験運用が促される

道路はみんなが日常的に使用するものです。

そこに新しい機能が加わることで、想像以上の出来事が起こるかもしれません。

地域振興のお祭りが、道路で繋がる仲間を中心に企画されたり。

スマートフォンや新技術を使った新しい娯楽や便利なサービスが生まれるかもしれません。新しいサービスを担う雇用が生まれる可能性もあります。

今までは、道路管理に必要なお金はすべて税金でした。熱意を持った人が集まれば、道路を安全にしたり、便利にしたり、新しいチャレンジを支えてくれる人が出てくるかもしれません。

<おわりに>

まちとひとつながりキロポストが存在することが普通のことになったその先の未来で、スマートフォンやゲーム機で新しい外遊びが生まれたり、旅行がほんのちょっとだけ楽しくなったり、生まれた地域や育った地域を誇らしく思えたり、救急車や消防車が数分早く到着できたり、誰かと誰かがキロポストをきっかけに出会ったり繋がったり。

そんな夢のようなまちになってくれたら嬉しなあと思いました。